Rev 1.0

Class Demo Manager

ユーザーマニュアル

Naoyuki Aoi (Japan Overseas Cooperation Volunteer)



Contents

1.	ソフトウェア概要	3
	1-1. ソフトウェア動作環境	3
	1-2.Class Demo Manager の仕組み	4
2.	インストール方法	6
	2-1. Windows 機能の IIS を有効化	7
	2-2. ネットワークの環境設定	9
	2-3.Class Demo Manager のインストール1	2
	2-3-1. Class Demo Manager のインストール手順1	2
	2-3-2. Class Demo Manager の設定1	6
	2-4 . タスクスケジューラの設定1	17
	2-5. Windows ファイアウォールの規則追加2	26
3.	Class Demo Manager の機能3	32
	3-1.管理者モード	32
	3-1-1. ソフトウェアを管理者モードで実行する	32
	3-1-2. ソフトウェア設定情報	34
	3-2. クライアントモード	38
	3-3. ProcessCheck.exe について	39

1. ソフトウェア概要

Class Demo Manager はコンピュータルームでの実習授業におけるデモンストレーションのためのソフトウェアです。

このソフトウェアはフルスクリーンモード、透過スクリーンモード(transparent-screen)、通常 ウィンドウモード(movable-screen)の3通りのデモンストレーションモードがあります。フルス クリーンモードでは講師(以降、管理者とする)のコンピュータ画面を生徒(以降、クライアント とする)のディスプレイにフルスクリーンで表示し、生徒は目の前のコンピュータの操作が不可 となります。透過モードでは管理者の画面をクライアント側ディスプレイに小さな半透明ウィ ンドウとして表示します。クライアントは他のアプリケーション等の操作が可能ですがウィン ドウは常に最善面に表示されます。通常ウィンドウモードは通常のウィンドウとして管理者の 画面を表示するためクライアントはウィンドウサイズを変更したりウィンドウの位置を変更し たりすることが可能です。

1-1. ソフトウェア動作環境

このソフトウェアを実行するには下記の環境・機能が必要です。

- OS: Windows 7 以降
- ソフトウェア: Microsoft .NET Framework 4.0 以降

IIS(Internet Information Services) 7.5 以降

ネットワーク: LAN 環境

このソフトは N-Computing 社製のシンクライアント環境などにも対応しています。

1-2.Class Demo Manager の仕組み

このソフトウェアはネットワークプロトコルを利用しており、管理者のコンピュータは Web サーバーとして動きます。

まず始めに管理者のコンピュータからネットワーク上にコマンドを送信します。



クライアント側はコマンドを受信した後、管理者コンピュータに用意された管理者の画面が表示される WEB ページにアクセスすることで管理者の画面を表示します。



例:以下はソフトウェアの設定画面です。

Full Screen Demo	Transpa Screen E	irent 50 🚖 Demo	Mov	able Screen Demo	
Stop Demo			۵ ا	hutdown	
Setting					
Display Address htt	p://192.168.0.1 8080				
Web Using Port No.	8080 🌧 (No.	1024-65524)	Crea	te Manager :	Site
Manager Using UDP P	ort No.	55555	÷ (No. 50000-65	5524)
Destination UDP Port 1	No. (Manager -> Client)	55556	+	55566	(.4.) (
	T	nis parameter is	automatic	c. You can't c	hange.
i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	100 100 0 055				_

上記の設定は下記の環境での設定となります。



2. インストール方法

このソフトウェアではさまざまな機能が必要なため、以下の手順に従い必要な機能をインストールしてください。

このインストール手順は以下に示す環境を想定しています。

インストール環境例(シンクライアントサーバーシステム サーバー4台 クライアント 36台)



2-1. Windows 機能の IIS を有効化

この設定は**管理者用コンピュータのみ**必要です。

① [Windows スタートメニュー]をクリックします。

② [コントロールパネル]をクリックします。



③ [プログラム]をクリックします。



④ [Windows の機能を有効化または無効化]をクリックします。



- ⑤ [インターネットインフォメーションサービス]をクリックしチェックをいれます。
- ⑥ [OK]をクリックします。

i Windows の機能		🔝 Windows の機能	
Windows の機能の有効化または無効化	0	Windows の機能の有効化または無効化	0
機能を有効にするには、チェックボックスをオンにしてください。機能を無効にて には、チェックボックスをオフレーズ(ビニー)を、 は、機能の一部が有効にな 5 Click & Check	73 7	機能を有効にするには、チェック ボックスをオンにし には、チェック ボックスをオフにしてください。塗り は、機能の一部が有効になっていることを表します。	ってください。機能を無効にする つつぶされたチェック ボックス
Windows TIFF I		Windows TIFF IFilter	*
Windows ガジェット		Windows カジェット フラットフォーム	
Windows 7Dr = EZ		WINDOWS プロセス起動サービス WINDOWS プロセス起動 WINDOWS プロセス WINDOWS WI	
V A 5 E 2 - P -		☑ ▲ XPS ビューアー	
🗉 🔟 インターネット インフォメーション サービス		🗉 💷 📕 インターネット インフォメーション サービ	22
 		□ <u>↓ インターネット インフォメーション サービ</u> □ インターネット インフォメーション サービス □ □ ト、動的なコンテンツ (Classic ASP や CGI 衣	スのホスト可能な Web コア (は、ASP.NET Web サイ など)、ローカル管理、およ
	-	■ 図 ひりモート管理のワハートを含めて、Web サ ポートします。	
田 国語 印刷とドキュメント サービス			() Click
■ ■ 商家 TCP/IP リーヒス (ecrio, daytime など) ■ ■ ■ 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)		■ 間易 TCP/IP ワーヒス (ecno、daytime な ■ ■ ■ 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)	
OK キャンセ	มม	(0K キャンセル

⑦ 変更が反映されるまで待ちます。下図のウィンドウ表示が消えたら完了です。 再起動メッセージが表示された場合は再起動してください。

Microsoft Windows	Microsoft Windows
しばらくお待ちください。機能に変更を加えています。この 処理には数分かかることがあります。	これらの変更を適用するにはコンピューターを再起動する必要があります。 再起動する前に、開かれているファイルをすべて保存して、 プログラムをすべて閉じる必要があります。
 (キャンセル	今すぐ再起動する(R) 後で再起動する(L)

2-2. ネットワークの環境設定

この設定は管理者、クライアント全てに必要です。

- ① [Windows スタートメニュー]をクリックします。
- ② [コントロールパネル]をクリックします。



③ [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。

◎ ・ コントロール パネル ・	◆ 4 コントロール パネルの検索
コンピューターの設定を調整します	表示方法: カテゴリ ▼
システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 バックアップの作成 問題の発見と解決	ユーザー アカウントと家族のための安全設定 愛 ユーザー アカウントの追加または削除 愛 保護者による制限の設定 3 Click トップのカスタマイズ
ネットワークとインターネット インターネットへの接続 <u>ネットワークの状態とタスクの表示</u> ホームグループと共有に関するオプションの選択	
ハードウェアとサウンド デバイスとプリンターの表示 デバイスの追加 共通で使うモビリティ設定の調整	 キーボードまたは入力方法の変更 表示言語の変更 コンピューターの簡単操作 設定の提案の表示
プログラム プログラムのアンインストール	視覚ディスプレイの最適化

④ [Local Area Connection] をクリックします。



⑤ [プロパティ]をクリックします。

Local Area Connection	B
:般	
接続	
IPv4 接続:	インターネット アクセスなし
IPv6 接続:	インターネット アクセスなし
メディアの状態:	有効
期間	00:35:05
速度	1.0 Gbps
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	
动作状况	
送信	义道 受信
パታット: 5 Click	7 0
⑦プロパティ(P)	₫る(<u>D)</u> ፤§₿₭(<u>G)</u>

- ⑥ [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択します。
- ⑦ [プロパティ]をクリックします。

接続の方法	接続の方法
Intel(R) PRO/1000 MT Desktop Adapter	Intel(R) PRO/1000 MT Desktop Adapter
この接続は次の項目を使用します(<u>O</u>):	構成(C) この接続は次の項目を使用します(Q):
 ○ 課択 ○ Mice ○ Mice	Microsoft ネットワーク用クライアント OoS パケット スケジューラ OoS パケット スケジューラ Microsoft ネットワーク用ファイルとグリンター共有 インターネット プロトコル パージョン 6 (TCP/IPv6) インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv6) ム Link-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver ム Link-Layer Topology Discovery Responder
インストール(M) 削除(U) プロパティ(R) 説明 コンピューターから Microsoft ネットワーク上のリソースにアクセスできます。	インストール(N)… 肖塚(U) プロパティ(B) 説明 伝送制御フロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコ

- ⑧ [次の IP アドレスを使う]を選択します。
- ⑨ ローカルエリアネットワークのアドレスを設定します。

(Subnet mask : 255.255.255.0)

例 管理者サーバー: 192.168.0.1
 クライアント用サーバー3台:
 192.168.0.2~192.168.0.4

(Subnet mask : 255.255.255.0)

题 ⑧選択	5場合は、IP 設定を自動的に取得することがで トワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ	ネットワークでこの機能がサポートされてい きます。サポートされていない場合は、ネ てくだざい。	いる場合は、IP 設定を自動的に取得することがで ットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ
● アドレスを自動的に取得する(O ●)次の IP アドレスを使う(S):	X	 IP アドレスを自動的に取得する(C 500 IP アドレスを使う(S) 	》
IP アドレス(I)		IP アドレス(I):	192 . 168 . 0 . 1
サブネット マスク(山)	(S & W	サブネット マスク(山):	255 . 255 . 255 . 0
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):		デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	20 22 22
 DNS サーバーのアドレスを自動的 次の DNS サーバーのアドレスを使 	に取得する(<u>B</u>) う(E):	 DNS サーバーのアドレスを自動的 () 次の DNS サーバーのアドレスを使 	aに取得する(<u>B</u>) き>(E) :
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):		優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	10 K K
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):		代替 DNS サーバー(<u>A</u>):	42 42 93
■ 終了時(ご設定を検証する(L)	 	■ 終了時(こ設定を検証する(L)	詳細 登定(い)

10 OK ボタン等で開いた設定ウィンドウを全て閉じます。

と設 ネットワークでこの棚能がサポートされて(きます。 サポートされて(いない場合は、ネ てくださ(い。	いる場合は、IP 設定を自動的に取得することが ットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わ	e l	
 IP アドレスを自動的に取得する(C 500 IP アドレスを使う(S)))	Adapter	
IP アドレス(D)	192 . 168 . 0 . 1	構成(<u>C</u>)	
サブネット マスク(山):	255 . 255 . 255 . 0		インターネット アクセスなし
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	17 17 N	•	インターネット アクセスなし 有効
 DNS サーバーのアドレスを自動的 一〇 次の DNS サーバーのアドレスを得 	(こ取得する(<u>B</u>) P 5(E)	グリンター共有 6 (TCP/IPv6)	00:95:05 1.0 Gbps
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):		Mapper I/O Driver	
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):		Responder	
■終了時に設定を検証する(L)		Clic	k
	OK +++>t	N PAR INPA	Cli
			eth(G)
		OK キャンセル	

2-3.Class Demo Manager のインストール

2-3-1. Class Demo Manager のインストール手順

この設定は管理者、クライアント全てに必要です。

① Setup.msi(Class Demo Manager インストーラ)をダブルクリックしインストーラを起動します。



② インストーラが準備されるまで少し待ちます。

Windows Installer	
Preparing to install	
	Cancel

③ [Next]をクリックします。

B ClassDemoManager	
Welcome to the ClassDemoManager Setup V	Wizard
The installer will guide you through the steps required to install ClassDemoM computer.	anager on your
WARNING: This computer program is protected by copyright law and intern Unauthorized duplication or distribution of this program, or any portion of it, r or criminal penalties, and will be prosecuted to the maximum extent possible	ational treaties. nay result in severe civil under the law.
	③ Click
Cancel < Back	Next >

- ④ インストール先のフォルダを変更する場合は[Browse]をクリックします。 変更しない場合はここの手順はスキップします。
- ⑤ [Everyone]を選択します。
- ⑥ [Next]をクリックします。

w or click "Browse". ④フォルダ選択
Browsen
Disk Cost
er.
(Click

⑦ [Next]をクリックします。

l ClassDemoManager	C 💌
Confirm Installation	
The installer is ready to install ClassDemoManager on your computer.	
Click "Next" to start the installation.	
	Click
	\sim
Cancel	Back Next >

⑧ インストールが完了するまで待ちます。

뷩 ClassDemoManager	
Installing ClassDemoManager	
ClassDemoManager is being installed.	
Please wait	
Cancel	< Back Next >

⑨ [はい]をクリックします。

8	ザー アカウント制	御 🔀
	次の不明な発行元 可しますか?	からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許
	プログラム名: 発行元: ファイルの入手先	C:¥Users¥Debug¥Desktop¥Setup.msi 不明 : このコンピューター上の八 ⑨ Click
	細を表示する(D)	(はい(Y) いいえ(N)
		これらの通知を表示するタイミングを変更する

⑩ [Close]をクリックします。

, classbernonanbyer		
Installation Comple	te	-
ClassDemoManager has been su	ccessfully installed.	
Click "Close" to exit.		
	1.1.1	
Please use Windows Update to (check for any critical updates to the	.NET Framework. 10 Clic
Please use Windows Update to r	check for any critical updates to the	.NET Framework. 10 Clic

2-3-2. Class Demo Manager の設定

この設定は管理者、クライアント全てに必要です。

- ① ソフトウェアを管理者権限で実行します。
 項目 3-1-1「ソフトウェアを管理者モードで実行する」参照。
- ② [Setting]をクリックします。



2-4. タスクスケジューラの設定

この設定は全てのクライアントで必要です。(本マニュアルで例示した環境の場合、管理者サー バもクライアントを兼ねるため全てに設定します。) クライアントがログオンした際にソフトウェアが自動的に実行されるようタスクスケジューラ

の設定を行います。

① [Windows スタートメニュー]をクリックします。

② [コントロールパネル]をクリックします。



③ [システムとセキュリティ]をクリックします。



④ [管理ツール]をクリックします。

		×
CO . * コントロールパ	ペル → システムとセキュリティ → + + + コントロール パネルの検索	٩
コントロールパネルホーム ・ システムとセキュリティ ネットワークとインターネット パードウェアとサウンド プログラム ユーザー アカウントと家族の ための安全設定 デスクトップのカスタマイズ 時計、言語、および地域 コンピューターの簡単操作	 Windows ファイアウォール ファイアウォールの状態の確認 Windows ファイアウォールによるプログラムの許可 システム RAM の量とプロセッサの速度の表示 Windows エクスペリエンス インデックスの確認 ⑨ リモート アクセスの許可 コンピューターの名前の参照 ⑨ デバイス マネージャー Windows Update 自動更新の有効化または無効化 更新プログラムの確認 インストールされた更新プログラムを表示 新見ポプション パッテリ設定の変更 スリープ解除時のパスワードの要求 電源ボタンの動作の変更 コンピューターがスリープ状態になる時間を変更 バックアップと復元 パックアップからのファイルの復元 Windows 	E

⑤ [タスクスケジューラ]をダブルクリックします。

		0	
	・ルハヘル → システムとビナユリティ → 目柱シール ▼ ◆ 目柱ソールの検索	(a) + (b)	2
登埋▼	There is a second a control of the second at		
☆ お気に入り	SCSI イニシエーター SWindows PowerShell Modules		
 ▶ ダウンロード ■ デスクトップ 1 1	Windows X E U # M + 1 × 2 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 ×		
 ■ ライブラリ ■ ドキュメント ■ ピクチャ ■ ピデオ ● ミュージック 	 ■システム構成 ● セキュリティが強化された Windo ● タスク スケジューラ ■ データ ソース (ODBC) ● パフォーマンス モー 自動的に実行するタスクをスケジュールします。 ● 印刷の管理 		
🚜 ホームグループ			
■ コンピューター 💂			
15個の項目			

<u>タスクの作成</u>

⑥ [操作]メニューの[タスクの作成]をクリックします。

🕒 タスク スケジ	ユ −ラ		
ファイル(E) 損	最作(A) 表示(⊻) ヘルプ(H)		
🗢 \Rightarrow 💼	別のコンピューターへ。 ⑥ Clic	<	
() 970 75	基本タスクの作成(目)	***: 2010/00/27 9:21:29) 操作	
▶ 3 9スク	タスクの作成(<u>R</u>)	タスクスケジューラ (1	コーカル) 🔺
	タスクのインポート(<u>M</u>)	・ 別のコンピューター	- へ接続
	実行中のすべてのタスクの表示(U)	指定したときにコン ヘー 100 基本タスクの作成。	
	すべてのタスク履歴を有効にする(E)	できます。開始する トバをカリックしてくだ ち タスクの作成…	
	AT サービスのアカウントの構成(<u>A</u>)	タスクのインボー	K
	最新の情報に更新(<u>F</u>)	ライブラリ フォルダ * = 一両 実行中のすべての	タスクの表示
	ヘルプ(H)	 すべてのタスク履行 	歴を有効にする
16.1	*** 、二/ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	状… 過去 24 時間以内 → AT サービスのアカ	ウントの構成
	概要:合計 0 - 実行中 0、	成功 0、停止 0、失敗 0 表示	Þ
	タスク名	実行結果 3 🛛 ヘルプ	
	×	<u> </u>	
	最終更新日時 2016/08/27	21:29 最新の情報に更新	
∢	+		
詳しい知識のある.	ユーザー用にカスタマイズされたタスクを作	成します。	

- ⑦ タスクの[名前]を入力します。
- ⑧ [ユーザーまたはグループの変更]をクリックします。

名前(<u>M)</u> :	Class Demo Mana	ser.	
場所:	¥		
作成者:	Debug-PC¥Debug		
戌日月(<u>D</u>):			
			8Click
セキュリティ オプシ	19D		
タスクの実行時に	こ使うユーザー アカウン	×	
Debug-PC¥Deb	oug	ユーザーまたはグノ	レーブの変更(<u>U</u>)
🧿 ユーザーがロ	グオンしているときのみ!	実行する(<u>R</u>)	
🔘 ユーザーがロ	グオンしているかどうか(こかかわらず実行する(W)	
□ パスワードな	を保存しない (<u>P</u>)タスク	がアクセスできるのはローカル コンピューター リン	ノースのみ
📄 最上位の特	権で実行する(1)		A 0.2009 AA00

⑨ [詳細設定]をクリックします。

ユーザー または グループ の選択	? 🔀
オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>): コーザー ガループ またけ ビルトイン セキュリティブロンベル	ℓル. (オポポーカトの損益業務(の))
場所の指定(E):	
DEBUG-PC	[]場所(<u>L</u>)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):	名前の確認(C)
(9)Click	
■¥希田設立 ····	OK キャンセル

⑩ [検索]をクリックします。

ユーザー、グルーブ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(の)
易所の指定(上): DEBUG-PC	場所(1)
共通クエリ	(III)Click
名前(A): 次の文字で始まる 👻	<u></u> Σι(©)
説明(D): 次の文字で始まる -	検索(N)
□ 無効になっているアカウント(B)	中止①
□ 無期限のパスワード(≥)	
前回ログオン時からの日数(1):	P /
★索結果(U):	OK キャンセル
検索結果(<u>U)</u> : ;前 (RDN) フォルダー	OK ##7767
食索結果(<u>U)</u> 前(RDN) フォルダー	OK ##>>セル
食索結果(∐): 5前 (RDN) フォルダー	OK ##7767
食索結果(<u>U)</u> : .前(RDN) フォルダー	OK **>

- ⑪ クライアントユーザーを選択します。例:STUDENT01
- ② [OK]をクリックします。

ユーザー また	は グループ の選択	?
オブジェクトの利 ユーザー、グノ	重類の)選択(S): レーブ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(の)
場所の指定(月	Ð:	
DEBUG-PC		場所(」)
共通クエリ		
名前(<u>A</u>):	次の文字で始まる	万川〇
[現8月(<u>D</u>):	次の文字で始まる 👻	
 無効に 無期間 	なっているアカウント(<u>B</u>) (のパスワード(<u>S</u>)	⊕£©
前回ログオ	ン時からの日数① →	① Click
└ 検索結果(∐):		OK ++>>セル
名前 (RDN)	フォルダー	*
Rerforman Performan Power Use Remote De	ce rs esk_ DEBUG	ーザーを選択
Replicator	DEBUG-PC	
Test	DEBUG-PC	
🔏 Users	DEBUG-PC	

③ [OK]をクリックします。

ユーザー または グループ の選択	?
オブジェクトの種類の選択(S):	
ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(の)
場所の指定(E):	
DEBUG-PC	場所(_)
選択するオブジェクト名を入力してください (<u>例</u>)(E):	in de la constante
DEBUG-PC¥STUDENT01	① Click 確認(©)
	OK ++>>セル

- ④ [最上位の特権で実行する]にチェックを入れます。
 <u>このソフトは最上位権限が必要となります。</u>
- ⑤ 実行環境に合わせ[構成]を選択します。

全般 トリガー	操作 条件 設定	
名前(<u>M</u>):	Class Demo Manager	
場所:	¥	
作成者:	Debug-PC¥Debug	
発8月(<u>D</u>):		
セキュリティ オブシ タスクの実行時()	」 ョン :使うユーザー アカウント:	
DEBUG-PC¥ST	UDENT01	ユーザーまたはグループの変更(山)
🌀 ១ – អ – ស័ព	ジオンしているときのみ実行する(<u>R</u>)	
⑭ チェッ	クしているかどうかにかかわらず実行する(W)	
א-עאר ל	(日来存しない(P)タスクがアクセスできるのはローカ	コルコンピュータ 15 選択
1/	権で実行する(I)	\
☑ 最上位の特征	構成(C): Windows® 7 Windows	s Server 2008 R2 🗸
 ☑ 最上位の特/ □ 表示しない(E) 	The second second second second	

- 16 [トリガー]タブを選択します。
- ① [新規]をクリックします。

<u>生版 「男ろ」</u> タスクの作成時に、	*FF 米FT 認足 タスクのトリガー条件を指定できます。	
トリガー	言羊糸田	1
	D Click	

⑧ タスクの開始:[ログオン時]を選択します。

19 [特定のユーザー]を選択します。

@[ユーザーの変更]をクリックし、手順 ⑨~⑬と同様に設定します。

21 [OK]をクリックします。

スクの開始(G): ログオン	/8寺	V	•	∫ 20 クリックし
設定				順 ⑨~⑬を行
◎ 任意のユーザー(Y)				7
特定のユーザー(C):	DEBUG-PC¥	STUDENT01	-1-	ザーの変更(山)
19 選択				
洋細設定				
□ 遅延時間を指定す	る(T): 15 分間	×		
— 	1時間	-	継続時間(E):	1日間 -
 繰り返し間隔(P): 繰り返し	1時間 継続時間の最後に実行	▼ 5中のすべてのタ	継続時間(E): スクを停止する(D)	1日間 👻
 ─ 繰り返し間隔(P): □ 繰り返し □ 繰り返し 	1時間 継続時間の最後に実行 間(L): 3	 ▼ テークすべてのタ 日間 ▼ 	継続時間(E): スクを停止する(D)	1日間 🚽
 一 繰り返し間隔(P): □ 繰り返し □ 繰り返し □ 停止するまでの時 □ アクティブ化(A): 	1時間 継続時間の最後に実行 間(L): 2016/08/27 → [!	 ・ ・<td>継続時間(E): スクを停止する(D)</td><td>1日間</td>	継続時間(E): スクを停止する(D)	1日間
 繰り返し間隔(P): 繰り返し 停止するまでの時 アクティブ化(A): 有効期限(X): 	1時間 継続時間の最後に実行 間(L): 3 2016/08/27 → 9 2017/08/27 → 9	す す中のすべてのタ 日間 9:34:38 学 9:34:38 学	継続時間(E): スクを停止する(D) ロ タイムゾーンにま ロ タイムゾーンにま	1日間 ▼ またがって同期(<u>Z</u>) またがって同期(E)
 繰り返し間隔(P): 繰り返し 停止するまでの時 アクティブ化(A): 有効期限(X): 有効(B) 	1時間 継続時間の最後に実行 間(L): 3 2016/08/27 → 9 2017/08/27 → 9	・ テ中のすべてのタ 日間 ・ 9:34:38 (余) 9:34:38 (余)	継続時間(E): スクを停止する(D) ロ タイムゾーンにき ロ タイムゾーンにき	1日間 またがって同期(Z) またがって同期(E)

-

22 [操作] タブを選択します。23 [新規]をクリックします。

タスクの作成 全般 トリガー	操作 条件 設定	
タスクを作成する 操作	場合、タスクの開始時に発生する操作を打	皆定する必要があります。
		-
23 筆版担(N)		
#/17兒(山)		and the second s

@操作:[プログラムの開始]を選択します。

③ [参照]をクリックし、インストールした Class Demo Manager を選択します。
 "C:\Program Files\AOISoft\ClassDemoManager\ClassDemoManager.exe"

²⁹ [引数の追加] フィールドに数値入力

このソフトウェアは使用する UDP ポート No.をここで指定する引数で切り替えます。1~11 の値をユーザー毎に別々になるように入力してください。

*※この設定はシンクライアントシステムの場合のみ必要です。*スタンドアロンでは UDP ポートを切り替える必要はありません。

⑦ [開始]フィールドにプログラムフォルダを入力します。

このプログラムでは関連する ProcessCheck.exe を実行するためにフォルダの指定が必要になります。

C:\Program Files\AOISoft\ClassDemoManager\

²⁹ [OK]をクリックします。

fiしい操作	
このタスクで実行する操作を指定してください。	@ [プログラムの開始]を選択
操作(1): プログラムの開始	
設定	29 クリックしプログラムを選択
プログラム/スクリプト(<u>P</u>):	
les¥AOISoft¥ClassDemoManager¥Class	DemoManager.exe [*] 参照(<u>R</u>)
引数の追加 (オプション)(<u>A</u>):	1 28 ユーザー毎に 1~11 を入力
開始 (オプション)(工):	C:¥Program Files¥AOISof
	10 プログラムフォルダのパスを入力
	C:\Program Files\AOISoft\ClassDemoManager\
	28 Click
	OK キャンセル

²⁹手順⑥~28 をユーザーの分だけ繰り返し設定します。

2-5. Windows ファイアウォールの規則追加

この設定は管理者用コンピュータのみ必要です。

[Windows スタートメニュー]をクリックします。
 ②[コントロールパネル]をクリックします。



③[システムとセキュリティ]をクリックします。

	▼ 4 コントロールパネルの検索 ₽
コンピューターの設定を調整します ③Click	表示方法: カテゴリ マ
 システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認 バックアップの作成 問題の発見と解決 	ユーザー アカウントと家族のための安全設定 ・ マカウントの追加または削除 ・ 保護者による制限の設定 ・ デスクトップのカスタマイズ
ネットワークとインターネット インターネットへの接続 ネットワークの状態とタスクの表示 ホームグループと共有に関するオプションの選択	 テーマの変更 デスクトップの背景の変更 画面の船像度の調整 時計、言語、および地域
ハードウェアとサウンド デバイスとプリンターの表示 デバイスの追加 共通で使うモビリティ設定の調整	キーボードまたは入力方法の変更 表示言語の変更 コンピューターの簡単操作 設定の提案の表示
プログラム プログラムのアンインストール	● 視覚ディスプレイの最適化

④ [Windows ファイアウォール]をクリックします。



⑤ [詳細設定]をクリックします。



⑥ [受信の規則]をクリックします。



⑦ [新しい規則]をクリックします。

ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻)	ヘレプ(圧)				(7	Click
🗢 া 🞽 🖬 🗟 🖬					U	
 	受信の規則 名前 ② Microsoft Office Groove ② Microsoft Office Groove	グループ	プロファイル プライベート プライベート	有効 (はい) (はい	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 操作 受信の規則 試 新しい規則 ア ブロファイルでフィルター
	Microsoft Office OneNote Microsoft Office OneNote Microsoft Office Outlook Reboot Restore Rx Reboot Restore Rx Unity Editor Munty Editor		フライベート プライベート プライベート パブリック パブリック プライベート プライベート	はい はい はい はい はい		 ▽ 状態でフィルター ▽ グループでフィルター 表示 ○ 最新の情報に更新 □ 一覧のエクスポート ○ ヘルプ
	 BranchCache コンテンツ取得 (HTTP BranchCache ビア検出 (WSD-受信) BranchCache ホスト型キャッシュ サ iSCSI サービス (TCP 受信) ISCSI サービス (TCP 受信) Mardia Center Extender - HTTP スト 	BranchCache - コンテン BranchCache - ピア検出 (BranchCache - ホスト型 ISCSI サービス ISCSI サービス Madia Center Extender	すべて すべて すべて プライベート ドメイン すべて	いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ		
	Media Center Extender - HTTP X.N Media Center Extender - qWave (TC Media Center Extender - qWave (UD Media Center Extender - RTSP (TCP Media Center Extender - SSDP (UDP Media Center Extender - WMDRM-N	Media Center Extender Media Center Extender Media Center Extender Media Center Extender Media Center Extender Media Center Extender	すべて すべて すべて すべて すべて	いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ		

⑧[ポート]を選択します。 ⑨[次へ]をクリックします。

● 新規の受信の規則ウイザー	- ۴
規則の種類	
作成するファイアウォールの規則の	種類を選択してください。
ᡘ ᠴ ᠋᠈᠋ᠯ᠄	
🎍 規則の種類	どの種類の規則を作成しますか? (8)選択
 プロトコルおよびポート 	
● 操作	🔿 ታወグラム(P)
プロファイル	フロクラムの接続を制御する場合です。
 名前 	
	TCP または UDP ボートの接続を制御する規則です。
	◎ 事前定義(E):
	BranchCache - コンテンツ取得 (HTTP を使用) ・
	Windows エクスペリエンスのために接続を制御する規則("す。
	カスタム(C) カム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カム(C) カム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カスタム(C) カム(C) カム(C) カム(C) カム(
	77-77-760792#1C 98
	想则仍维强の詳細を表示します。 ③Click

⑩[TCP]を選択します。

⑪[特定のローカルポート]を選択します。

¹²手順 2-3-2 で"WEB Using Port No."に設定した値を入力します。

⑬[次へ]をクリックします。

新規の受信の規則ウイザ−	-۴
プロトコルおよびポート	
この規則を適用するプロトコルとポ	ートを指定してください。
ス テッ プ:	
• 規則の種類	TCPと UDP のどちらにこの規則を適用しますか?
🧔 プロトコルおよびボート	◎ TCP(B) ⑪ 選択
● 操作	
🤹 プロファイル	
● 名前	すべてのローカルボートと特定のローカルボートのどちらを対象にこく ⑪選択 ⑫入力
	◎ すべてのローカル ボート(A)
	● 特定の□ カル ホート(S) : 8080 例: 80, 443, 5000-5010
	<u>プロトコルとポートの詳細を表示します</u> ③Click <戻る個 次ペロン キャンセル

④[接続を許可する]を選択します。⑤[次へ]をクリックします。

新規の受信の規則ウイザ−	- ۴
操作	
規則で指定された条件を接続が	満たす場合に、実行される操作を指定します。
ᡘ ᠶ ᠋᠈᠋ᠯ᠄	④選択
 規則の種類 	接続が指定し、 作を実行しますか?
プロトコルおよびボート	
◙ 操作	接続を計可90(A) IPage を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。
プロファイル	
 名前 	 でキュリティでは、誰だれている場合のか投続を許・可る(L) IPsecを使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ保護されます。 カスタマイズ(Z) カスタマイズ(Z) 接続をブロックする(K)
	<u>操作の詳細を表示します</u> (5)Click 《戻る(8) 次へ(N) キャンセル

16ネットワーク環境に合わせてプロファイルを選択します。ネットワークの詳細がわからない 場合は全て選択してください。 170[次へ]をクリックします。

● 新規の受信の規則ウイサ	f-β	
プロファイル この規則が適用されるプロファイ	ルを指定してください。	
2577: 16)選択 • 瘭作 • フロファイル • 名前	 この規則はいつ適用しますか? ▼ ドメイン(D) コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。 ▼ ブライベート(P) コンピューターがプライベートネットワークの場所に接続しているときに適用されます。 ▼ パブリック(D) コンピューターがパブリックネットワークの場所に接続しているときに適用されます。 	
	<u>プロファイルの詳細を表示します</u> (⑦Clic (戻る個) 次へM> キ	:k

1¹⁰規則の名前を入力します。 1¹⁰[完了]をクリックします。

بلد ور	
名則	
この規則の名前と説明を指定してください。	
کری ک ر در ک	
● 規則の種類	
◆ プロファイル 名前N: Grap Dama Managar	
● 名前	
I説明 (オプション)□):	
19Click	

3. Class Demo Manager の機能

3-1. 管理者モード

3-1-1. ソフトウェアを管理者モードで実行する

このソフトウェアを通常起動するとクライアントモードで開始します。管理者モードで起動するには管理者として実行する必要があります。

① プログラムのアイコン上で右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。



② ユーザーアカウント制御メッセージが表示されたら[はい]をクリックします。

-د 8 آ	・ザー アカウント制 次の不明な発行す 可しますか?	創御 こからのプログラムにこのコンピューターへの変更を許
	プログラム名: 発行元: ファイルの入手券	ClassDemoManager.exe 不明 E: このコンピューター上 ②Click
I	詳細を表示する(D)	(はい(Y) いいえ(N)
		これらの通知を表示するタイミングを変更する

管理者ユーザーでない場合は管理者ユーザーのパスワードを入力する必要があります。

😗 ユーザー アカウント制御
次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?
プログラム名: ClassDemoManager.exe 確認済みの発行元: 不明
シアイルの大子元、このコンビューターエのハート・トライン
してください。
Debug パスワード
✓ 詳細を表示する(D) (はい(Y) いいえ(N)

管理者モードで起動するとこのウィンドウが表示されます。



これらのボタンの機能は次の章で説明します。

[Full] は [フルスクリーンモード]

[Transparent] は [透過スクリーンモード]

[Movable] は[通常ウィンドウモード]

[Stop]は[デモの停止]です。

3-1-2. ソフトウェア設定情報

Transpa Screen D	rent 50 🚖	Mova	able Screen Demo	
]		ڻ ه	hutdown	
00.100.0.1.0000				
92,168.0.1:8080	1024 (55234)	Corr	to Managar 1	C#-
(NO.	1024-65524)		te manager	JILE
ο.	55555	()	No. 50000-65	5524)
Manager -> Client)	55556	*	55566	(.e.) (
Th	nis parameter is	automatic	. You can't c	hange.
168 0 255				_
	Transpa Screen E 92.168.0.1:8080) ♀ (No.) ♀ (No. Manager -> Client) Th 168.0.255	Transparent 50 Screen Demo [] 92.168.0.1:8080 [] (No. 1024-65524) [] o. 55555 Manager -> Client) 55556 This parameter is []	Transparent 50 ↔ Screen Demo Image: Screen Demo 92.168.0.1:8080 Image: Screen Demo Image: Scree	Transparent 50 → Screen Demo Demo Ø Shutdown 92.168.0.1:8080 (No. 1024-65524) Create Manager Create Manager o. 55555 (No. 50000-65 Manager -> Client) 55556 → - 55566 This parameter is automatic. You can't c 168.0.255

Command

・Full Screen Demo(フルスクリーンモード)

[Full Screen Demo]をクリックするとクライアントに管理者の画面がフルスクリーンで表示されます。

・Transparent Screen Demo(透過スクリーンモード)

[Transparent Screen Demo]をクリックするとクライアントの右上に小さな透過スクリーンが表示されます。

※1この数値入力ボックスはスクリーンのサイズになります。範囲は10~100%です。

例: 10%	これが透過スクリーンです
Солів Солів	
Class Demo Manager	
*	
📀 🏉 📜 🔍 💷 🖳 🖉	JP 🔩 A 舰 😂 🧭 🕼 🗳 - 🎠 译 🗑 🐠 11:35 2016/08/27

例: 50%

Class Demo Manager Demo mode select Full Full Stop		Series For a se		
Setting				A CONTRACT OF STREET
		4		
H				
🙆 🌔 🚞 🖸 💷	📖 🗶 😰		」Р 🤻 🗛 😢 🧭 🕐 кана 🖓	▲ 11:36 ▲ 10 10:36 2016/08/27

(上記は管理者とクライアントを同一コンピュータで実行しているためクライアントに自分自 身の画面が入れ子で表示されている状況です。) ・Movable Screen Demo(通常ウィンドウモード)

[Movable Screen Demo]をクリックすると通常のウィンドウで管理者の画面が表示されます。ウィンドウはサイズ変更や移動が可能ですが閉じることは出来ません。



・Stop Demo(デモの停止)

フルスクリーン・透過スクリーン・通常ウィンドウでのデモンストレーションを終了するとき には[Stop Demo]をクリックします。モードを変更する場合はデモの停止は必要ありません。

・Shutdown(コンピュータの強制シャットダウン)

[Shutdown]をクリックするとクライアントのコンピュータにシャットダウンが指示されます。 一度実行してしまうとシャットダウンを中止することは出来ませんので注意してください。

Setting

Display Address

この設定はデモが開始されたときにクライアント側で表示されるアドレスになります。そのため管理者コンピュータのアドレスとポートを設定する必要があります。

• Web Using Port No.

これは管理者コンピュータの Web で利用するポート番号になります。通常、変更は不要です。

・Create Manager Site(管理者コンピュータのみ)

[Web Using Port No.]で指定されたポートで管理者画面表示用 WEB ページが作成されます。

作成手順

① [Create Manager Site] をクリックします。

Demo	Transparent 50 🜩 Screen Demo	Movable Screen Demo	
Stop Demo	[O Shutdown	
Setting			
Display Address http://192.16	8.0.1:8080		IICK
Web Using Port No. 8080	(No. 1024-65524)	Create Manager Site Z	
Manager Using UDP Port No.	55555	(No. 50000-65524)	
Destination UDP Port No. (Manag	er -> Client) 55556	÷ 55566	
	This parameter is	automatic. You can't change.	

② 管理者コンピュータであるかの確認メッセージが表示されますので[Yes]をクリックします。

Confirming		×
Is this	computer manager	s computer?
	Ver	

③ 作成成功メッセージが表示されたら[OK]をクリックします。



もしエラーメッセージが表示された場合は、インストール手順に漏れ、構成に不備がないか確認してください。

・Manager Using UDP Port No, Destination UDP Port No.(コマンド送受信に利用するポート No.)

この設定は通常、変更する必要はありません。もし他のプログラムなどで同一のポートが利用 されている場合のみ変更してください。あて先ポート番号(Destination UDP Port No.)は管理者利 用ポート番号(Manager Using UDP Port No.)の後ろが自動的に割り当てられるため設定できません。

・BroadCast Address(コマンド送信先ネットワークアドレス)

管理者のコマンドを送信するあて先ネットワークアドレスを設定します。ここで指定するアドレスはブロードキャストアドレスとしてください。

3-2. クライアントモード

"2-4 タスクスケジューラの設定"が正しく設定できている場合、次回起動時にクライアントモードでソフトウェアが起動 する際に Windows セキュリティの重要な警告が表示されます。[アクセスを許可する]をクリックしてください。



管理者がデモを開始するとクライアントモードは管理者のサイトを表示します。画面は1秒毎 に更新されるため管理者はマウス操作などをゆっくり行ってください。

3-3. ProcessCheck.exe について

インストール先のフォルダには下記の2つの実行ファイルがインストールされます。

- ClassDemoManager.exe
- ProcessCheck.exe.

ProcesCheck.exe はクライアントモードで実行されたソフトウェア(ClassDemoManager.exe)の起動 状態をモニタリングし、ソフトウェアが何らかの理由で停止・終了されている場合にクライア ントモードの再起動を行うためのものです。

そのため、もしクライアントモードを終了したい場合には、始めに ProcessCheck.exe を終了してください。

ProcessCheck.exe は削除しても ClassDemoManager は実行可能です。クライアント側で勝手に停止して困る、エラーで停止して困る、ということがなければ削除してかまいません。